

新刊「改訂増補 予算会計」 出版記念セミナー

～部門別月次キャッシュ・フロー予算の構築～

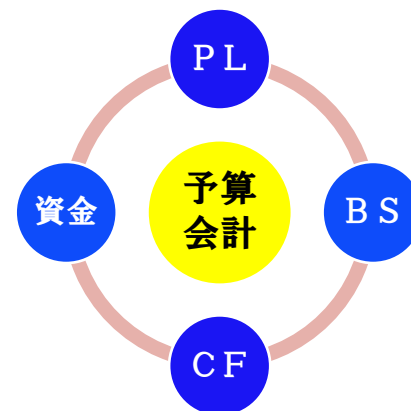


2016年 3月 4日（金曜日）

宝印刷グループ

株式会社スリー・シー・コンサルティング

代表取締役 児玉 厚（公認会計士）



講義者紹介



児 玉 厚 (公認会計士)



<略歴> 昭和57年埼玉大学経済学部卒業、神鋼商事(株)財務部経理課、東陽監査法人を経て、現在 宝印刷グループ (株)スリー・シー・コンサルティング代表取締役。

- ①**実績開示**：法定開示書類の組替・計算・転記・照合を自動化するシステム、**X-Smart.Advance**共同開発
- ②**計画開示**：キャッシュ・フロー予算自動化システム開発「**予算会計エクスプレス**」(特許申請中)



【主要著書】改訂増補「予算会計」「企業予算編成マニュアル」「有価証券報告書完全作成ガイド」「開示決算ガイドブック」「会社法完全作成ガイド」(すべて清文社・共著含む)
「連結決算・開示実務演習テキスト」(中央経済社) <共著>など

開示教育関連メルマガ

① 予算開示関係



【予算会計を学ぶ】(担当：児玉 厚)

「予算財務諸表(予算B/S・予算P/L・予算株/変・予算C/F及び資/計)を作成するプロセス」を「予算会計」と定義し、「企業予算編成マニュアル」(清文社) <共著>より、予算財務諸表を作成する実務を解説し、公正な予算実務教育と一緒に創ってゆきます。ほっと川柳も掲載します。

<https://www.3cc.co.jp/yosan/top.php>



② 実績開示関係



【開示会計を学ぶ】(担当：高橋 幹夫)

日本IPO実務検定協会主催の新検定「財務報告実務検定【連結実務演習】対応の「連結決算・開示実務演習テキスト」(中央経済社)を発刊しました。「連結決算+開示実務+XBRL実務」の演習問題の検定となっております。同検定の普及により、経理スタッフのチームとしての開示会計力の向上を図ることを目的として、基礎力養成のための情報を提供し、双方向で質疑応答をしてゆきたいと考えております。書籍のポイント・ミニ演習問題・訂正報告等の分析情報も提供しております。

<https://www.3cc.co.jp/kaiji/top.php>

目 次

1	当社の経営理念と事業方針	．．． P	1 ～ 3
2	「改訂増補 予算会計」発刊の背景	．．． P	4 ～ 9
3	「改訂増補 予算会計」のポイント	．．． P	10 ～ 36
3－1	「繰越」	．．． P	10～15
3－2	「複式簿記化」	．．． P	16～21
3－3	「BS（売掛金）→CF（売上債権の増減額）」	．．． P	22～26
3－4	「月次予算：PL→BS→CF」	．．． P	27・28
3－5	「部門別予算：PL→BS→CF」	．．． P	29～33
3－6	「月次予実管理&着地予想：PL→資金→CF」	．．． P	34
3－7	「連結予算：PL→株変→BS→CF→業績予想」	．．． P	35・36
	最後に	．．． P	37～40

1 当社の 経営理念と事業方針

児玉：経理、会計士、そして経営者

会計人は「将来の経営層」を担うべき

「作業」から「経営判断」へ

2つの事業領域（出口から考える）

正確性

迅速性

①実績開示

「決算でも
残業ゼロ」
別紙記事



正確性

迅速性

②計画開示

書籍・メルマガ

教 育

書籍・メルマガ

決算報告EXP/XSA

システム

ESFL 予算会計エクスプレス

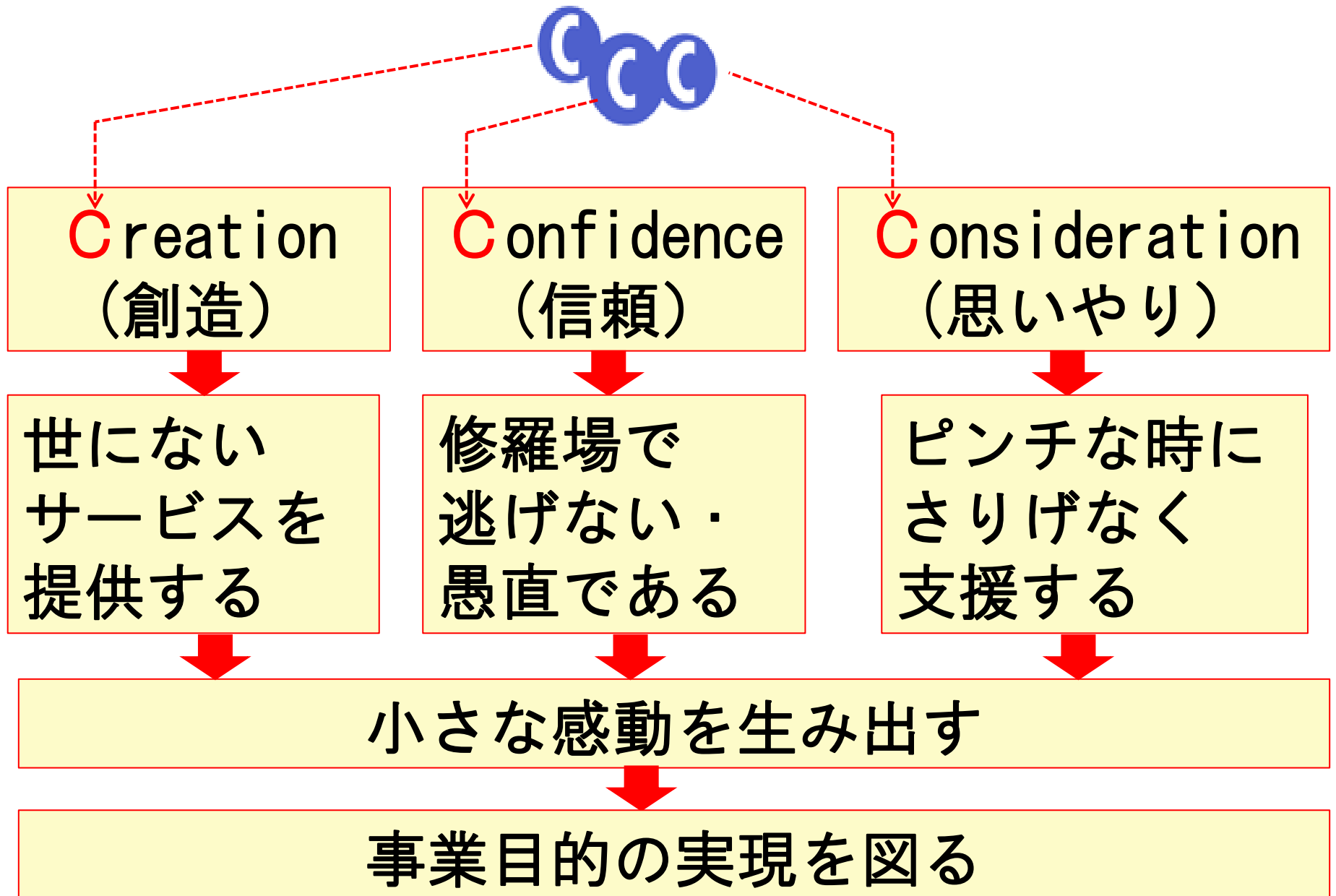
開示統制支援

コンサル

予算構築支援

注：「開示」には「内部報告」が含まれる。

1-2 「3つのC」とは？



2 「改訂増補 予算会計」 発刊の背景

2-1 「予算関連書籍」発刊の推移

簿記論の様な予算作成の理論がない！

キャッシュ・フロー経営なのに、何故目標のキャッシュ・フロー予算がないのか？

2000年
発刊



製造業の
モデル
原価計算
含む

4回増刷
↓
絶版

「予算会計メルマガ」で解説
月曜日 予算会計クイズ
火曜日 企業予算編成
マニュアルの解説
水曜日 業績予想修正理由一覧
木曜日 予算実務知識Q & A
金曜日 予算実務のポイント
大人気の「ほっと川柳」も配信

2012年
発刊



卸売業の
モデル
初心者
向け

絶版

宝印刷主催
予算キャッシュ・フロー
演習講座など

2016年
発刊



卸売業の
モデル
部門別月次
予算管理
着地予想
連結予算

実践的なシステム構築に関心のある実務家向け

「予算会計会員」登録 (PO)
→ ・書籍の演習版提供
・各種予算実務情報の提供



予算会計を学ぶ



理論編

はじめまして、予算会計メルマガを主催しております児玉厚と申します。

2000年に「**企業予算編成マニュアル**」＜共著＞（清文社）を発刊しました。製造業を前提として、予算PL・予算BS・予算CF及び月次資金計画書を具体的な数値を連動させて作成するプロセスを解説した書籍です。4回増刷し、現在絶版。再販の要望を多くいただいております。そこで、本メルマガでは本書を基礎として具体的なEXCEL等を提供して解説してゆきます。

新刊書籍として、2016年2月に発刊した「**改訂増補 予算会計**」＜共著＞（清文社）を発刊しました。部門別月次予算CF、同月次予算管理及び着地予想並びに連結予算CF作成プロセスを解説しております。

コーポレートガバナンス報告書の開示が始まりました。「継続的成長」を図るためには、成長のための「投資」が必要であり、「投資」のためには「キャッシュ（お金）」が必要です。不正の芽を摘み、連結ベースの全社員がお金を増やすよう行動する経営の仕組みが、東芝が新たに採用決定した「**キャッシュ・フロー予算に基づく業績評価制度**」です。その実現の前提は「**キャッシュ・フロー予算作成プロセスの全体像の理解**」です。上記書籍及び本メルマガがその大きな教育支援になると自負しております。



■ レギュラーコンテンツのご紹介

1 ほっと川柳（感性を磨く）

どういう訳が時事ネタと川柳が人気！（メルマガ読者の声）

児玉先生 メルマガ&著書の愛読者です。

先生のメルマガにどれだけ救われているかわかりません（笑）。

これからもダイナミックかつ繊細な活動を期待しております。

＜ほっと川柳＞

「ロボットには できないスキル 脱作業！」

2000年に会社を起業し、法定開示書類の組替・計算・転記・照合を自動化するシステム「決算報告エクспレス」をリリースした。

上場会社の経理の方向けに多くのデモを行った。

その当時は、口にごそ出していませんが、「法定開示書類を作れるというのが自分のスキルなのだから、こんなシステム入れてもらったら困る。」という風に思っていた経理の方が50%以上いた。

でも、今の経理の方にはほとんどいない。

「作業」から「経営判断」の方へ大きくシフトしている。・・・

2 曜日別配信内容

月曜日：予算会計クイズ（計算問題・解説）

火曜日：『企業予算編成マニュアル』（清文社）解説

水曜日：業績予想の修正理由一覧

木曜日：予算実務知識Q & A

金曜日：予算実務のポイント

3 予算会計クイズ（遊び感覚で）

Q4 当期末の売掛金が5,000円だった場合、「次期キャッシュ・フロー計算書」の「売上債権の増減額」はいくらか。

＜前提1＞ 販売数量：4～12月 累計110個

翌1月：20個、2月：30個、3月40個 予想販売単価 100円

＜前提2＞ 次期売掛金（消費税等率＝8%）の決済条件が

「未締2カ月後入金」である場合

【制限時間：30秒】

☐ △2,560円

☐ △560円

☐ 680円

☐ △2,000円

予算会計メルマガの会員登録はこちらから！ <http://www.3cc.co.jp/mailmagazine.php>

株式会社スリー・シー・コンサルティング

〒171-0033 東京都豊島区高田3-14-29 KDX高田馬場ビル7階
TEL：03-6863-7200 FAX：03-6863-7201





『予算会計会員』のご案内

実践編

<<https://www.3cc.co.jp/yosanmember/top.html>>

「キャッシュ・フロー予算制度」構築に関心のある皆様を対象に、キャッシュ・フロー予算演習講座や、予算実務意見交換会のお知らせ、演習問題の配信など、実務に役立つ各種サービスをご提供させていただきます。ぜひ会員にご登録ください。



【会員サービス】（不定期配信・ご相談随時）

1. 執筆者 児玉 厚を司会とする意見交換会・懇親会のご案内
2. 改訂増補「予算会計」に沿った「演習問題・解答」（随時アップ予定）
3. 改訂増補「予算会計」に沿った「E X C E L 計算シート」（随時アップ予定）
4. 予算実務のお悩みについてのご相談
5. 上場会社等の予算実務の課題・問題点等の実践情報の提供
6. 予算システム化のご相談など

コーポレートガバナンス・コード→継続的成長



継続的成長のための継続的な投資が必要



投資のためには「お金（キャッシュ）」が必要

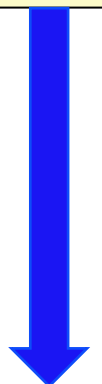


全社員がお金を増やす様に自動的に行動する
ボタン＝経営の仕組みが必要

東芝：不正会計



東芝：再発防止策



キャッシュ・フロー予算に基づく業績評価制度

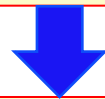
ある日突然社長が、「うちも東芝と同じ様に、
『キャッシュ・フロー予算に基づく
業績評価制度』を採用する！」と言われたら



前提：部門別月次キャッシュ・フロー予算を
速く、正確に作成できること



会計人は、部門別月次キャッシュ・フロー
予算作成の全体像を理解していることが必須

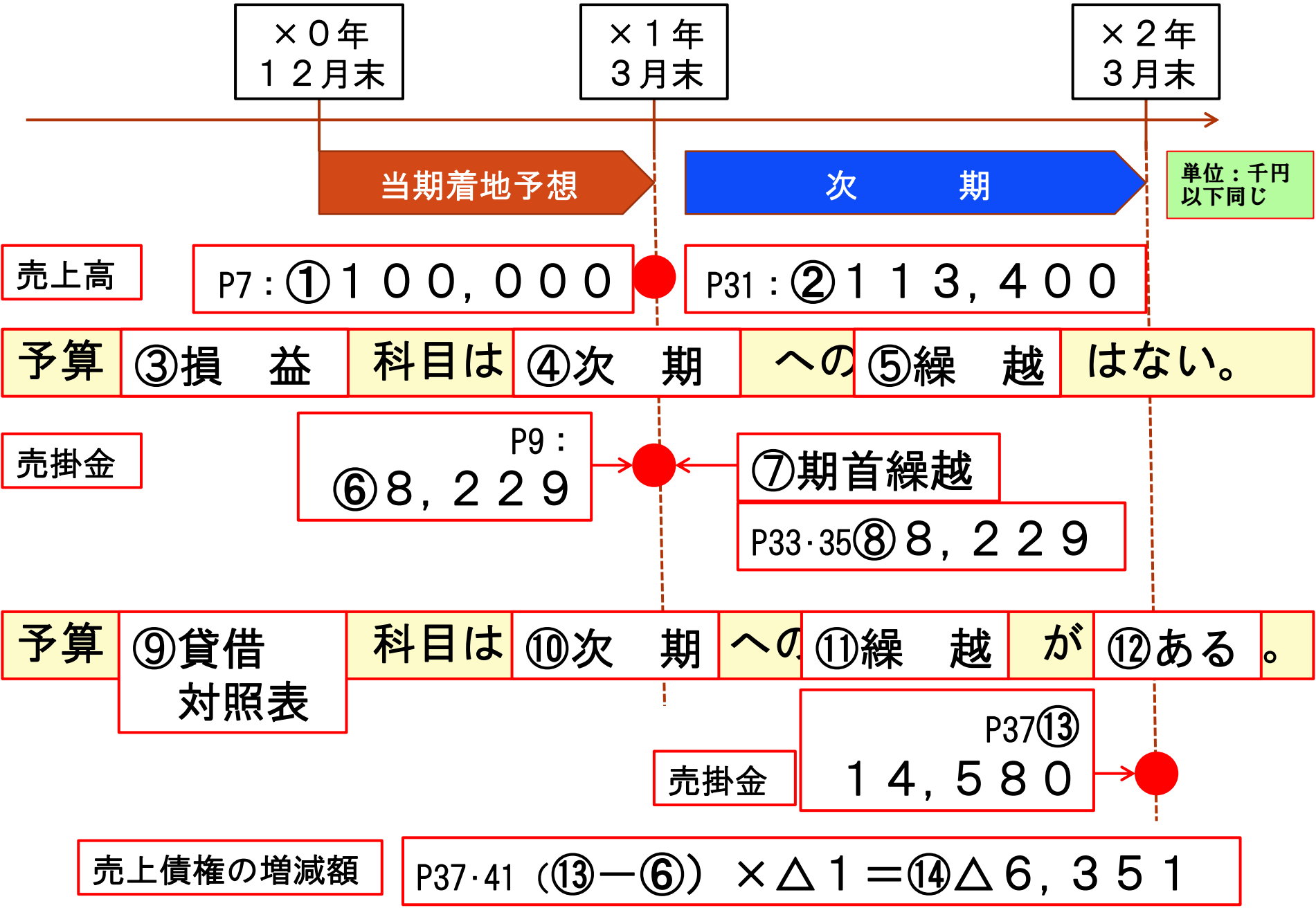


「改訂増補
予算会計」

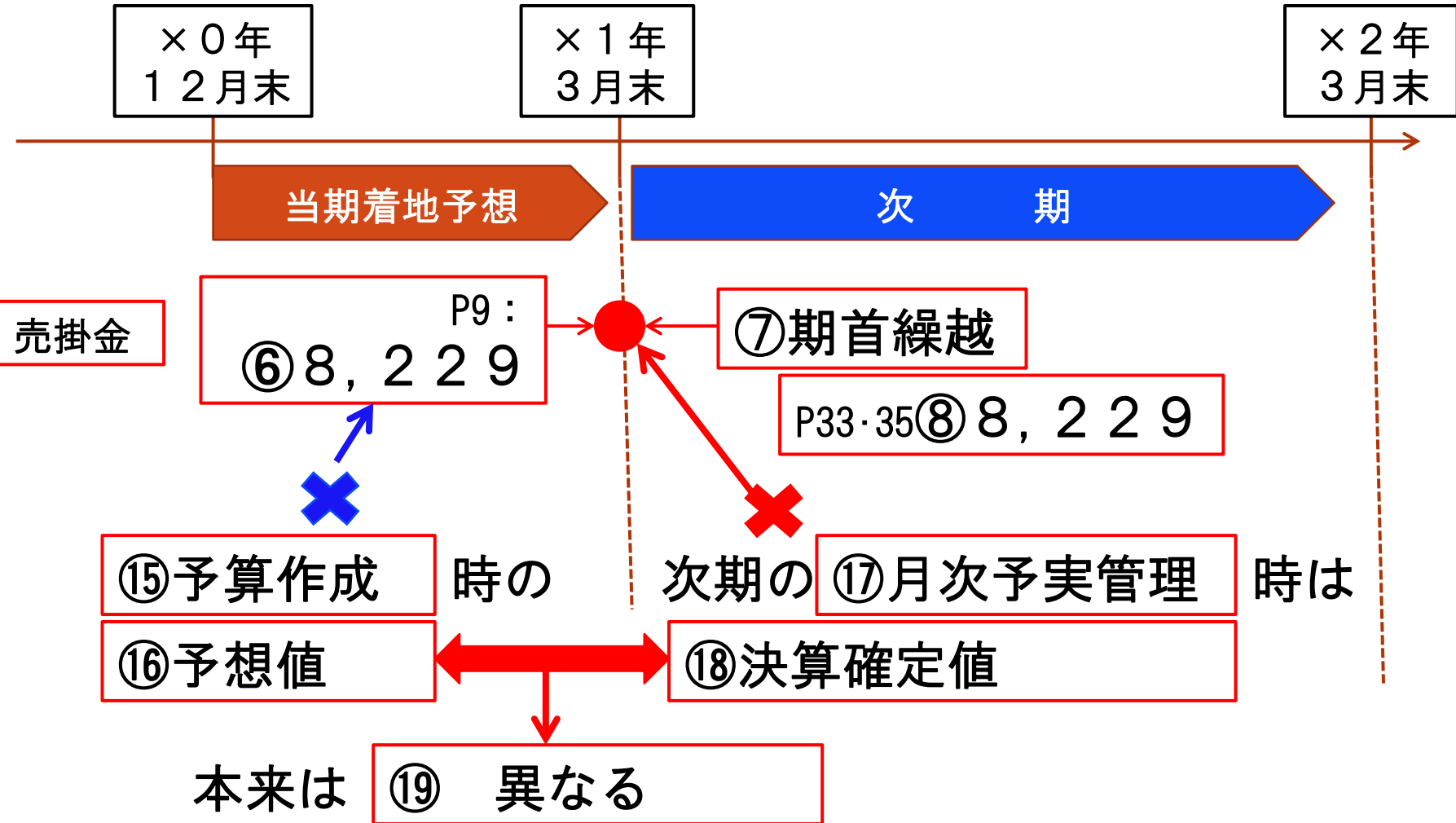


3 改訂増補 予算会計 のポイント

3-1 【繰越】-(1)「改訂増補 予算会計」(P9・P33・P35・P37・P41)



3-1 【繰越】-(2)「改訂増補 予算会計」(P9・P33・P35)

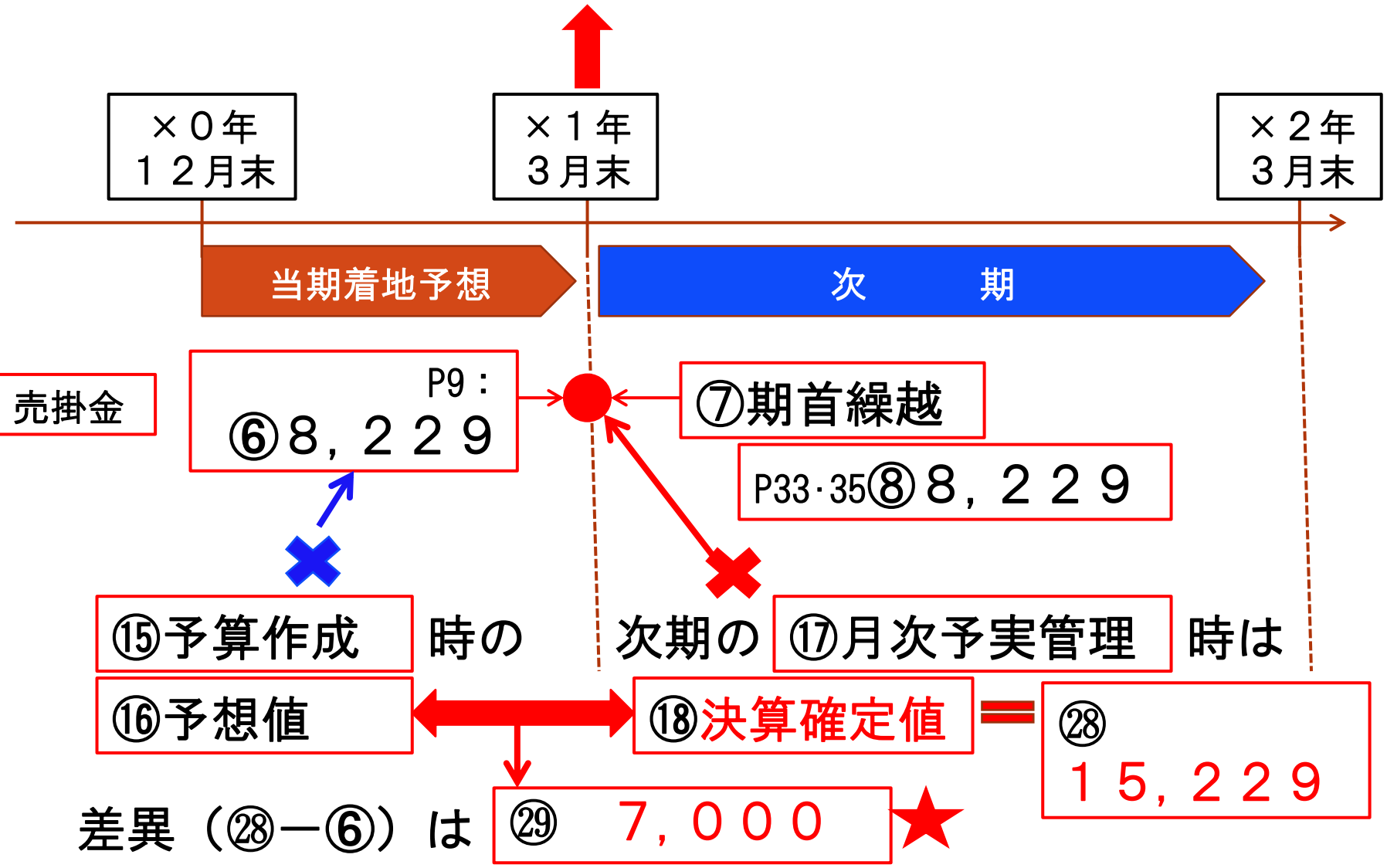


書籍上は、便宜上 ⑳ 一致 すると ㉑ 仮定 している。
→ P ㉒ 1 9 7 ・ P ㉓ 2 0 1

書籍 P 2 0 3 の次期 5 月末時点の「売上債権の増減額」の
着地予想値が仮に次年度のキャッシュ・フロー計算書の
実績値と仮定すると全社の次年度の年間予実差異は
下記の通りになる。

キャッシュ・フロー予実管理報告書【全社】				
科 目	予 算	実 績	差 異	差異率
売上債権 の増減額	②④ △ 6 , 3 5 1	②⑤ △ 4 , 8 9 3	②⑥ 1 , 4 5 8	②⑦ 2 3 %

当期末の売掛金の決算確定数値が15,229であった場合



当期末の売掛金の決算確定数値が15,229であった場合、書籍P203の次期5月末時点の「売上債権の増減額」の着地予想値が仮に次年度のキャッシュ・フロー計算書の実績値と仮定すると全社の次年度の年間予実差異は下記の通りになる。

キャッシュ・フロー予実管理報告書【全社】

科目	予算	実績	差異	差異率
売上債権の増減額			③⑦ 業績評価	
調整前		③② Δ4,893	の対象の	
③⑩ 期首繰越調整		③③ Δ7,000	③⑧ 実績値	
			から ③⑨ 除く	
調整後	③① Δ6,351	③④ Δ11,893	③⑤ Δ5,542	③⑥ Δ87%

従前の ①損 益 予算は、②収益 科目は、③収益
の ④予算数値のみ を ⑤集計 し、⑥費用 科目は
⑦費用 の ⑧予算数値のみ を ⑨集計 しており、
いわゆる ⑩ 単式簿記 の作成方法になっている。

⑪キャッシュ・フロー 予算を作成する場合には、⑫ 正確な
⑬予算貸借対照表 の作成が ⑭ 前提 となる。

従って、⑮予算 においても、⑯ 貸借一致 を
原則とする ⑰ 複式簿記（予算仕訳） が ⑱必要 となる。

3-2 【複式簿記化】—(2)「改訂増補 予算会計」(田辺・W社P29→P33)

担当者別相手先別販売計画表 (田辺・W社向)

(決済条件) : 末締翌月末振込入金 (1ヵ月後回収)

項目	×1年4月	×1年5月	6月～翌3月・通期累計
売上高	略	【1】 3,600	略

⑱ 予算仕訳

㉔ ×1年5月31日

㉒ × (100% + ㉗ 8%)
= ㉘

㉙ BS : 売掛金

㉚ 3,888

㉑ PL : 売上高

㉒ 3,600

㉗ 8%

㉓ BS : 仮受消費税等

㉔ 288

借方合計
: ㉖ 3,888

貸方合計 : ㉕ 3,888

3 - 2 【複式簿記化】 - (3) 「改訂増補 予算会計」 (田辺・W社P29→P33)

担当者別相手先別販売計画表 (田辺・W社向)				P 2 9
(決済条件) : 末締翌月末振込入金 (1ヵ月後回収)				
項目	× 1 年 4 月	× 1 年 5 月	6 月 ~ 翌 3 月・通期累計	
売上高	略	【1】 3, 6 0 0	略	

担当者別相手先別売上代金回収計画表 (田辺・W社向)						P 3 3
(決済条件) : 末締翌月末振込入金 (1ヵ月後回収)						
区分	売上高	当月売上分	前月売上分	略	売掛金回収額	
	売掛金発生	売掛金	売掛金	略	W社より資金回収	
略						
× 1 年 5 月	②②→③① 3, 6 0 0					
	③①→③② 3, 8 8 8	③③ 3, 8 8 8				
× 1 年 6 月						

3-2 【複式簿記化】一(4)「改訂増補 予算会計」(田辺・W社P29→P33)

担当者別相手先別売上代金回収計画表 (田辺・W社向) P 3 3
(決済条件) : 末締翌月末振込入金 (1ヵ月後回収)

区分	売上高	当月売上分	前月売上分	略	売掛金回収額
	売掛金発生	売掛金	売掛金	略	W社より資金回収
×1年 5月	③① 3,600				
	③② 3,888	③③ 3,888			
×1年 6月					④④ 3,888

③④ 予算仕訳

③⑤ ×1年6月30日

③⑧ B S : 現金及び預金

③⑨ 3,888

③⑥ B S : 売掛金

③⑦ 3,888

3-2 【複式簿記化】—(5)「改訂増補 予算会計」
(田辺・W社P29→P33→P37)

④①資金：月次資金計画書

を作成する場合にも

④②資金収支予算仕訳

を基礎として作成する。



④② 資金収支予算仕訳

④③ × 1 年 6 月 3 0 日

④⑥資金
：繰越資金

④⑦ 3, 8 8 8

④④資金
：売上代金回収収入

④⑤ 3, 8 8 8



3-2 【複式簿記化】—(6)「改訂増補 予算会計」
(田辺・W社P29→P33→P37)

担当者別相手先別売上代金回収計画表（田辺・W社向） （決済条件）：末締翌月末振込入金（1ヵ月後回収）						P 3 3
区分	売上高	当月売上分	前月売上分	略	売掛金回収額	W社より資金回収
	売掛金発生	売掛金	売掛金	略		
× 1 年 6 月					④0 3, 8 8 8	

売上代金回収計画書				P 3 7
月 次	田辺・W社	鈴木・Z社	全社合計	
	売掛金回収額	売掛金回収額	売掛金回収額	
× 1 年 6 月	④8 3, 8 8 8	B: 1, 9 4 4	④9 5, 8 3 2	

月次資金計画書					P 3 7
区分	資金予算科目	略	6 月	略	
資金 収入	④4 売上代金 回収収入		⑤0 5, 8 3 2		

3-3 【BS（売掛金）→CF（売上債権の増減額）】

—(1)「改訂増補 予算会計」（田辺・W社P29→P33→P37）

相手先別の次期末の売掛金は、

① 月次売掛金発生額

と

② 決済条件（回収条件）

で決まる。

①は ③ 月次売上高

×（100%＋ ④ 消費税率）で計算される。

②より、①の ⑤ 月次期間範囲 が決定される。

3月決算で、②が「1ヵ月後振込入金」の場合は、

⑥ 3 月分の①が、②が「2ヵ月後振込入金」

の場合は、⑦ 2・3 月分の①が、②が「3ヵ月後振

込入金」の場合は、⑧ 1・2・3 月分の①が

次期末売掛金となる。

3-3 【BS（売掛金）→CF（売上債権の増減額）】

—(2)「改訂増補 予算会計」（田辺・W社P29→P33→P37）

担当者別相手先別売上代金回収計画表（田辺・W社向）

P 3 3

（決済条件）： 未締翌月末振込入金（1ヵ月後回収）

区分	売上高	当月売上分	前月売上分	略	売掛金回収額
	売掛金発生	売掛金	売掛金	略	W社より資金回収
略					
×2年 3月	⑨ 9,000				
	⑩ 9,720	⑪ 9,720			
W社向 売掛金		⑫ 9,720			

⑬ 次々期の の
⑭ X2年4月30日
に ⑮ 資金回収
される。

3-3 【BS（売掛金）→CF（売上債権の増減額）】

—(3)「改訂増補 予算会計」（田辺・W社P29→P33→P37）

担当者別相手先別売上代金回収計画表（田辺・W社向）

P 3 3

（決済条件）：末締翌月末振込入金（1ヵ月後回収）

区分	売上高	当月売上分	前月売上分	略	売掛金回収額
	売掛金発生	売掛金	売掛金	略	W社より資金回収
×2年3月末		⑫ 9,720			

売上代金回収計画書

P 3 7

月次	田辺・W社	鈴木・Z社	全社合計
	売掛金	売掛金	売掛金
×2年3月末残高	⑬ 9,720	C: 4,860	⑭ 14,580

予算貸借対照表

P 3 7

予算科目	予算額	予算作成資料
売掛金	⑮ 14,580	

予算比較貸借対照表

P 3 7

予算科目	当期	次期	増減差額
売掛金	D: 8,229	⑯ 14,580	⑰ 6,351

3-3 【BS（売掛金）→CF（売上債権の増減額）】

—(4)「改訂増補 予算会計」（田辺・W社P29→P33→P37→P41）

予算比較貸借対照表				P 3 7
予算科目	当期	次期	増減差額	
売掛金	D : 8, 2 2 9	①⑨ 1 4, 5 8 0	②⑩ 6, 3 5 1	

予算キャッシュ・フロー計算書組替仕訳

P 4 1

予算CF科目は
「貸方」固定

②② ±BS : 売掛金 ②③ 6, 3 5 1

②④ CF : 売上債権の増減額

②⑤ Δ 6, 3 5 1

借方合計 : 0

貸方合計 : ②① 0

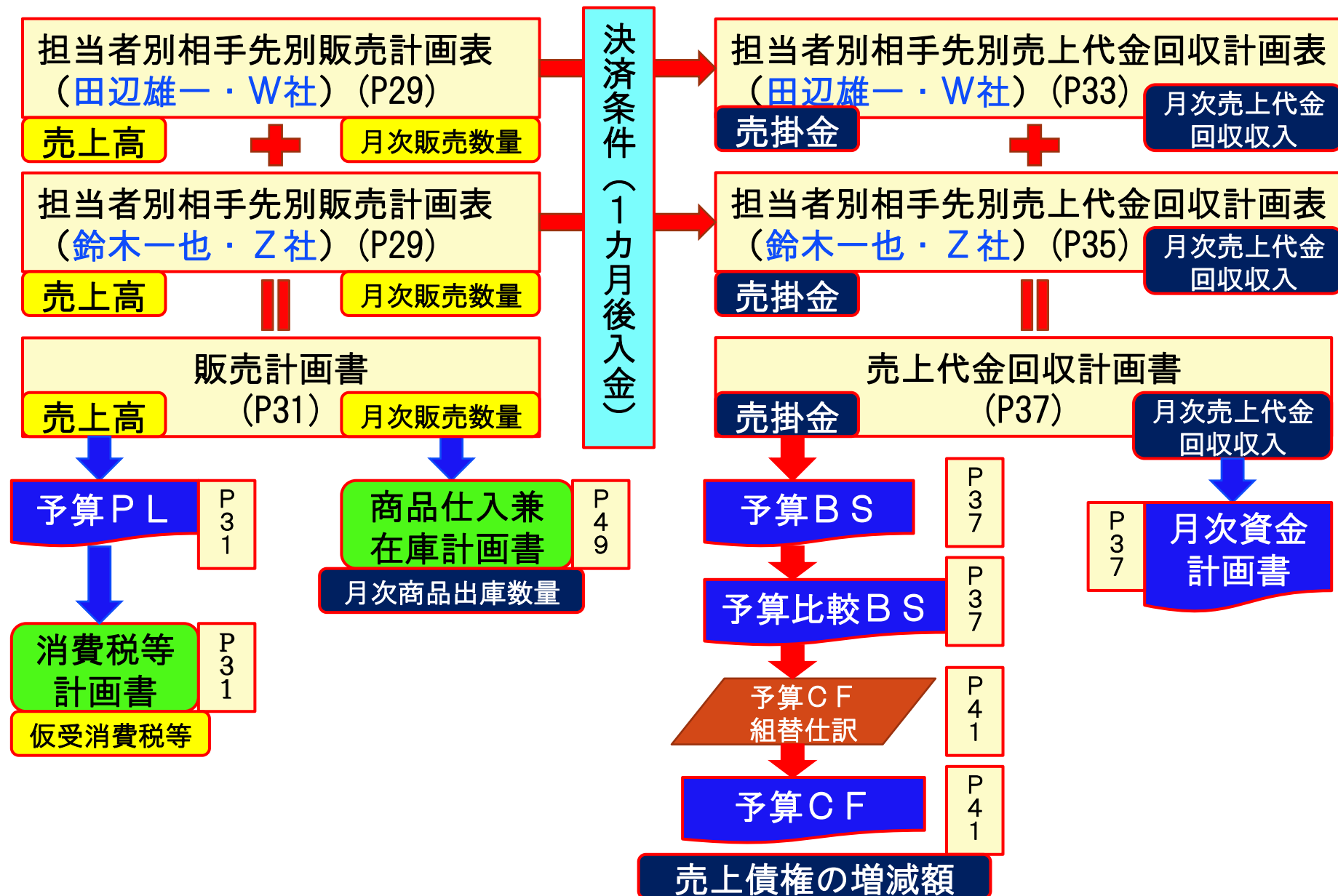
予算キャッシュ・フロー計算書

P 4 1

予算科目	予算金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
略	略
②⑥ CF : 売上債権の増減額	②⑦ Δ 6, 3 5 1

3-3 【BS（売掛金）→CF（売上債権の増減額）】

—(5)「改訂増補 予算会計」(田辺・W社P29→P33・35→P37→P41)



3-4 【月次予算：P L→B S→C F】—(1)「改訂増補 予算会計」 (P157・159→P161・163・165→P167・169)

「予算損益計算書」の「年次」と「月次」の作成方法

方法1：①月次予算損益計算書の作成→②年次予算損益計算書の作成

方法2：①年次予算損益計算書の作成→月次分割→②月次予算損益計算書の作成

1. 収益予算科目

→ 月次販売計画表等より作成

2. 費用予算科目

A：売上原価

→ 月次売上原価計画表等より、月次予算P L作成

B：その他変動費

→ 月次売上高×**予定変動費率**より作成

C：固定費

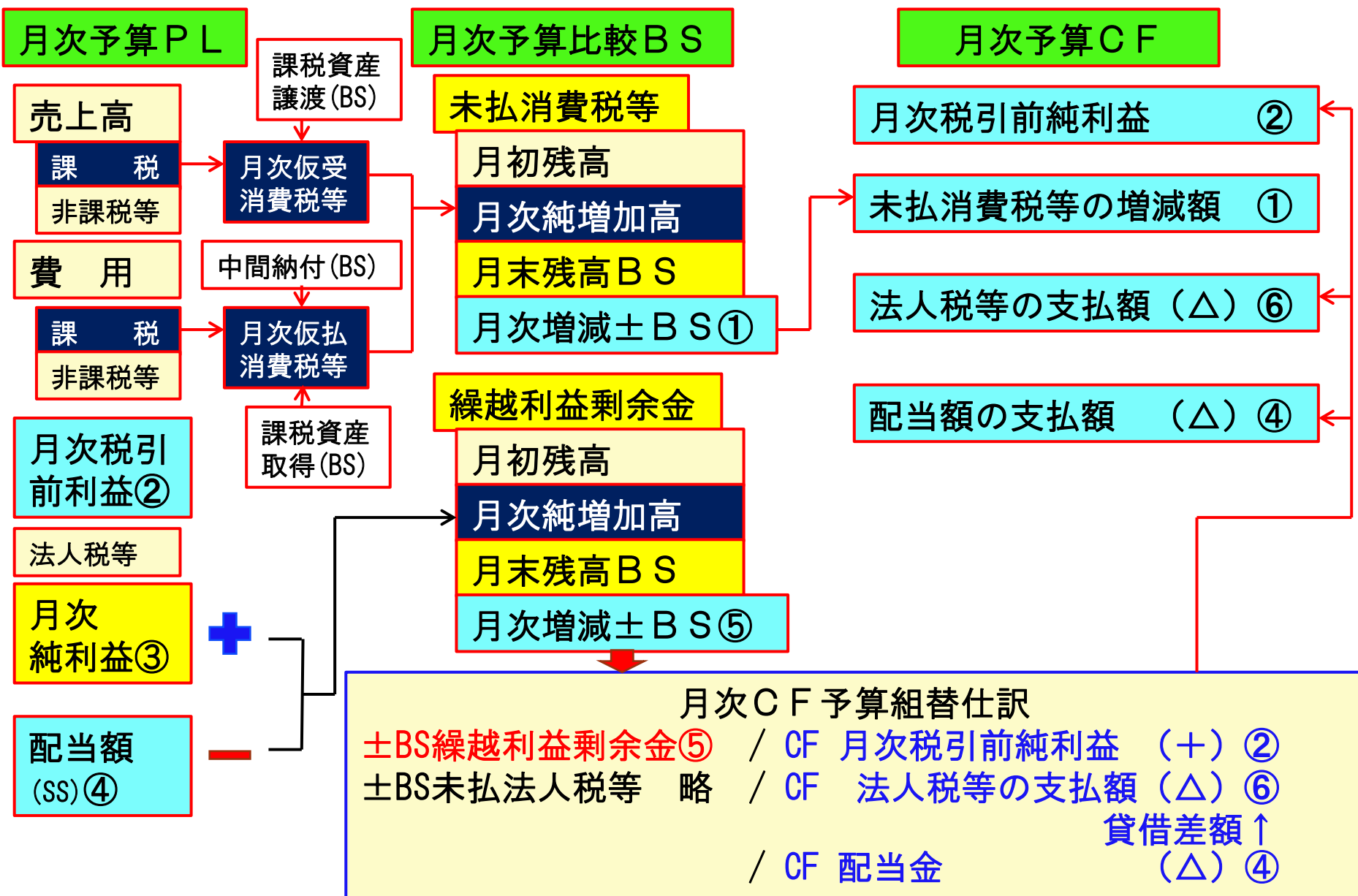
(1) 月次発生額を合理的に予測できる費用

→ **当該月次発生予測費用**を記入

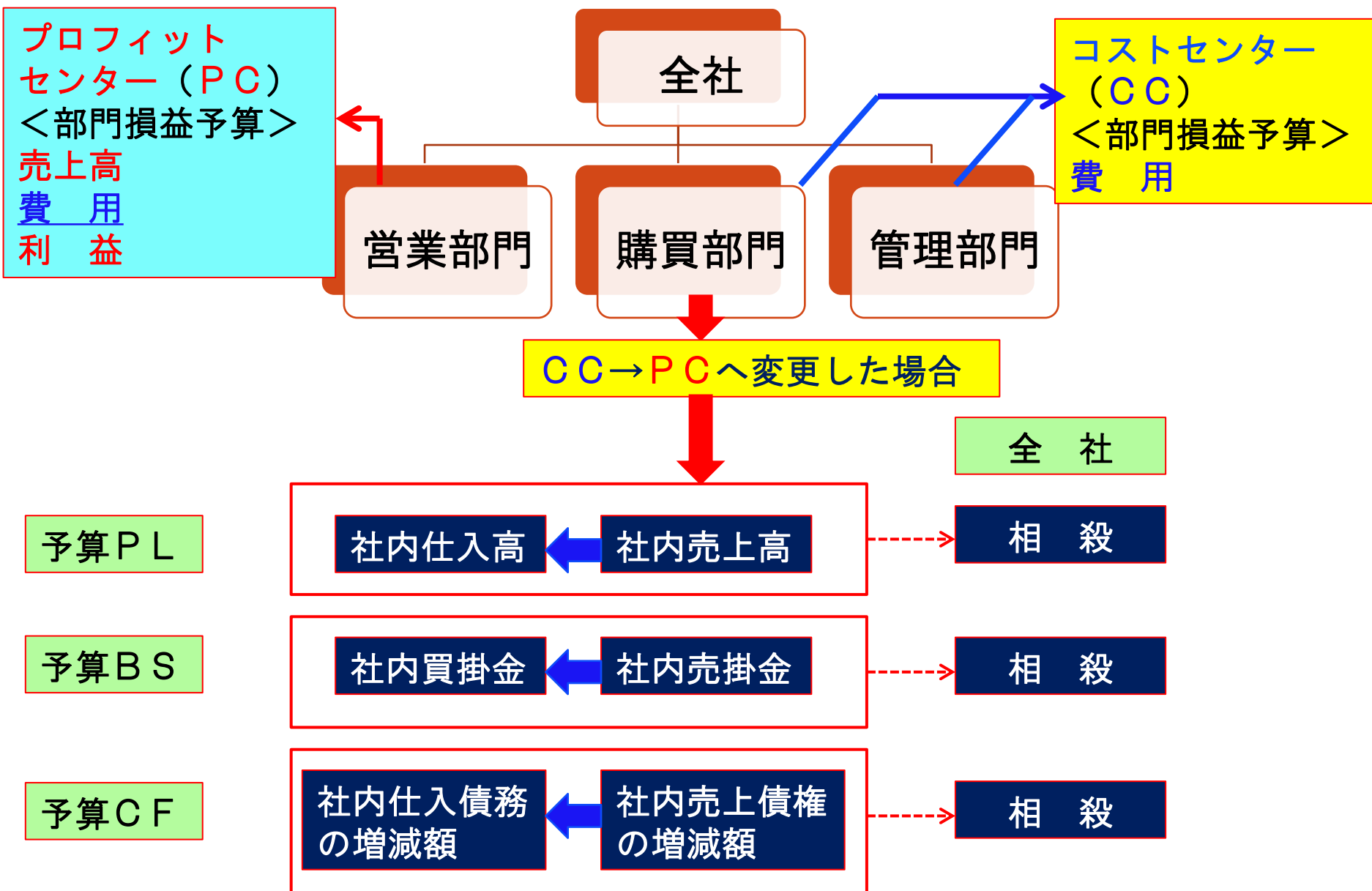
(2) 月次発生額を合理的に予測できない費用

→ 年間予算費用÷12ヵ月
又は年間予算費用×**月次季節
変数**などにより、計算・記入

3-4 【月次予算：P L→B S→C F】—(2)「改訂増補 予算会計」 (P157・159→P161・163・165→P167・169)



3-5【部門別予算：P L→B S→C F】—(1)「改訂増補 予算会計」 (P173・175・177・179→P181・183・185→P187・189)



3-5 【部門別予算：P L → B S → C F】 — (2) 「改訂増補 予算会計」 (P173・175・177・179→P181・183・185→P187・189)

P173・175・177・179		部門別予算損益計算書			
予算科目	区分等	全社	営業部門	購買部門	管理部門
PL 配賦基準	稼働人員数 同割合 (%)	3.0人 (100.0%)	1.5人 (50.0%)	0.7人 (23.3%)	0.8人 (26.7%)
販売手数料	部門個別費	1,260	1,260	配 賦	
減価償却費	部門共通費	1,589	795		

特定の部門が便益を受けている費用

複数の部門が共通して便益を受けている費用

特定の部門が管理責任を負う資産・負債・純資産

P181・183・185		部門別予算貸借対照表			
予算科目	区分等	全社	営業部門	購買部門	管理部門
BS 配賦基準	期首稼働人員数 同割合 (%)	2.0人 (100.0%)	1.5人 (75.0%)	0.2人 (10.0%)	0.3人 (15.0%)
有形固定資産	部門個別管理	2,882	配 賦		2,882
資本金	部門共通管理	10,000			1,500

複数の部門が共通して管理責任を負う資産・負債・純資産

3-5【部門別予算：P L → B S → C F】—(3)「改訂増補 予算会計」

(P173・175・177・179→P181・183・185→P187・189)

便宜上、書籍の数値とは異なる。

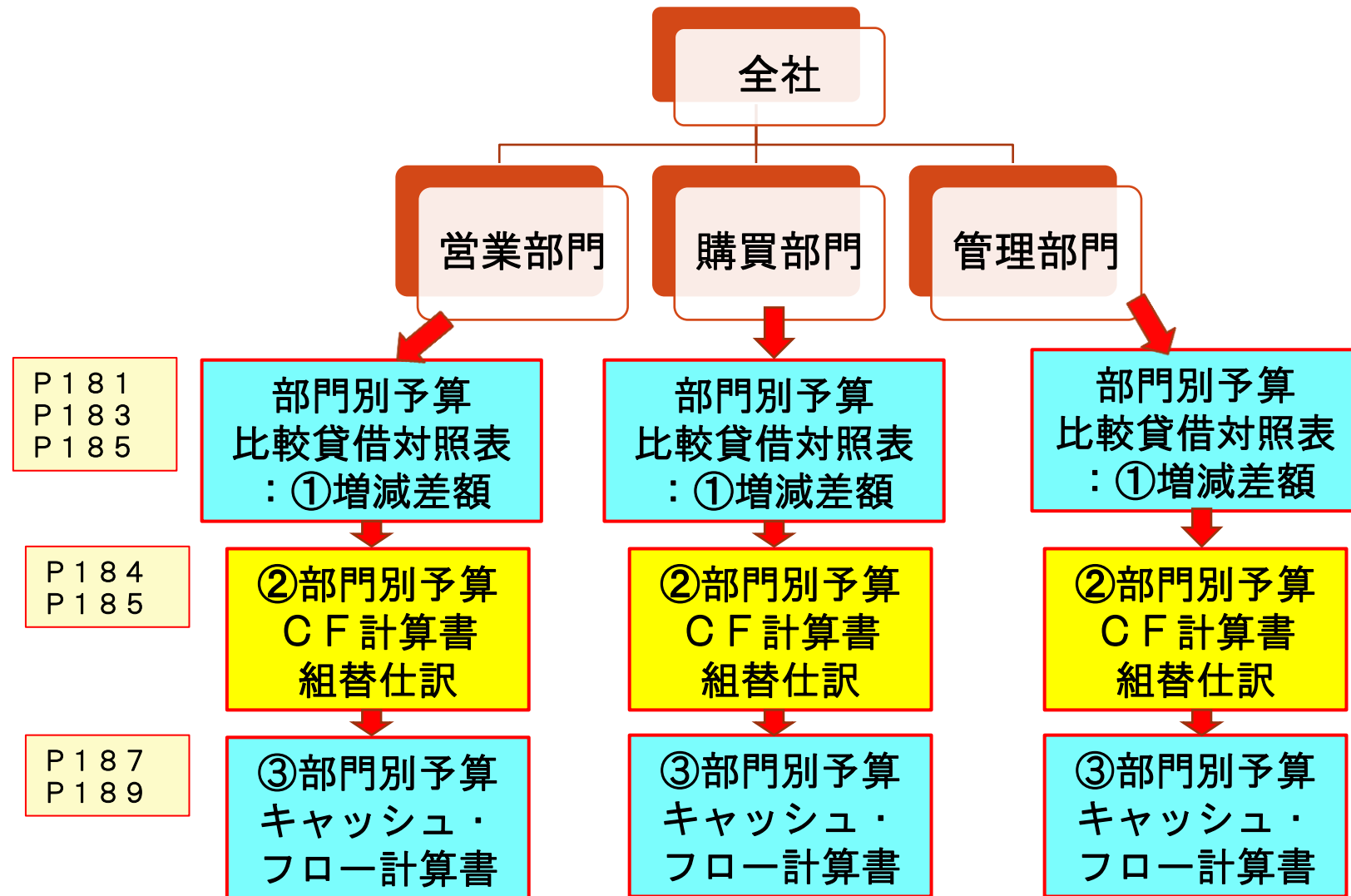
P181・183・185

部門別予算貸借対照表

予算科目	営業部門	購買部門	管理部門	社内勘定相殺	全社
現金及び預金			1,900		1,900
売掛金	600				600
社内売掛金		100		(100)	0
その他資産	200	150	200		550
社内貸付金	440	400	0	(840)	0
資産合計	1,240	650	2,100	(940)	3,050
買掛金		(200)			(200)
社内買掛金	(100)			100	(0)
その他負債	(160)	(100)	(1,050)		(1,310)
社内借入金	(0)	(0)	(840)	840	(0)
資本金	(600)	(230)	(210)		(1,040)
繰越利益剰余金	(380)	(120)	(0)		(500)
負債・純資産合計	(1,240)	(650)	(2,100)	940	(3,050)
照合差額	0	0	0	0	0

部門別予算BSの貸借調整勘定

3-6 【部門別予算：P L → B S → C F】—(4)「改訂増補 予算会計」
(P173・175・177・179→P181・183・185→P187・189)



④部門別月次予算キャッシュ・フロー計算書は紙幅の関係上、省略している。

3-5 【部門別予算：P L → B S → C F】 — (5) 「改訂増補 予算会計」

(P173・175・177・179→P181・183・185→P187・189)

便宜上、書籍の数値とは異なる。

P187・189

部門別予算キャッシュ・フロー計算書

予算科目	営業部門	購買部門	管理部門	社内勘定相殺	全社
部門利益	350	150	0		450
減価償却費			1,589		1,589
売上債権の増減額	△300				△300
社内売上債権の増減額		△50		50	0
社内仕入債務の増減額	50			△50	
仕入債務の増減額		100			100
営業活動による キャッシュ・フロー	100	200	1,589	0	1,839
	部門別キャッシュ・フロー目標				
社内貸付金の増減額	△100	△200	0	300	0
社内借入金の増減額	0	0	300	△300	0
・・・略・・・					
現金及び現金同等物 の増減額	0	0	1,839		1,839
同期首残高			61		61
同期末残高			1,900		1,900

P179
本社費・税金費用
配賦後のため

3-6 【月次予実管理&着地予想：P L→資金→C F】

—(1)「改訂増補 予算会計」(P193・195→P197・199→P201・203)

次期5月末現在

月次発生ベース

差異

月次累計ベース

①原因＝予算設定

②原因＝実績の問題

③次期への影響

有

無

次期予算編成方針
へ反映

P L

資金

C F

予実管理

略

予実管理

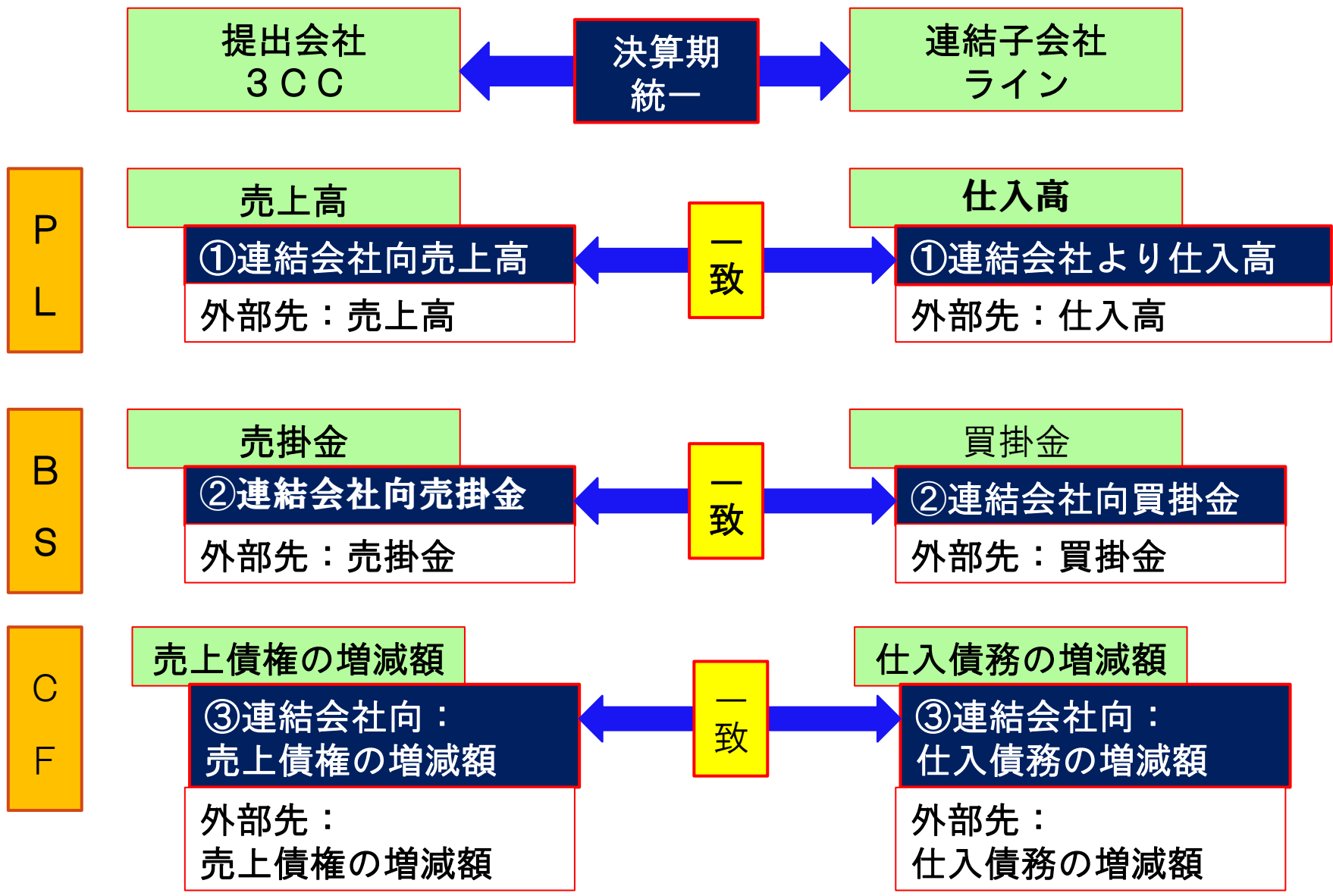
着地予想

着地予想

着地予想

未經過月6月～翌3月の月次
予算数値を実勢ベースに再修正
し、着地予想値をシミュレ
ーション計算する。

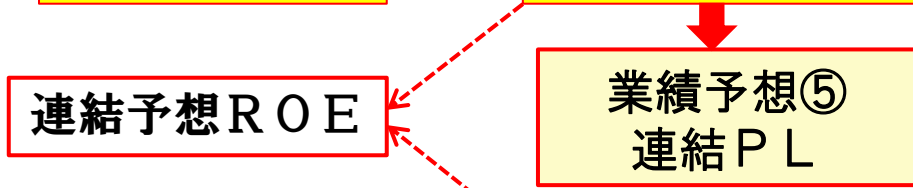
3-7 【連結予算：P L→株変→B S→C F→業績予想】 —(1)「改訂増補
予算会計」 (P213・221→P215・223→P217・225→P219・227→P231)



3-7 【連結予算：P L→株変→B S→C F→業績予想】 —(2)「改訂増補
 予算会計」(P213・221→P215・223→P217・225→P219・227→P231)

提出会社 個別予算	+	連結子会社 個別予算	-	連結 予算仕訳	=	連 結 予 算
--------------	---	---------------	---	------------	---	------------

個別予算P L ①	+	個別予算P L ②	-	連結予算仕訳 P L ③	=	連結予算P L ④ セグメント情報
--------------	---	--------------	---	-----------------	---	----------------------



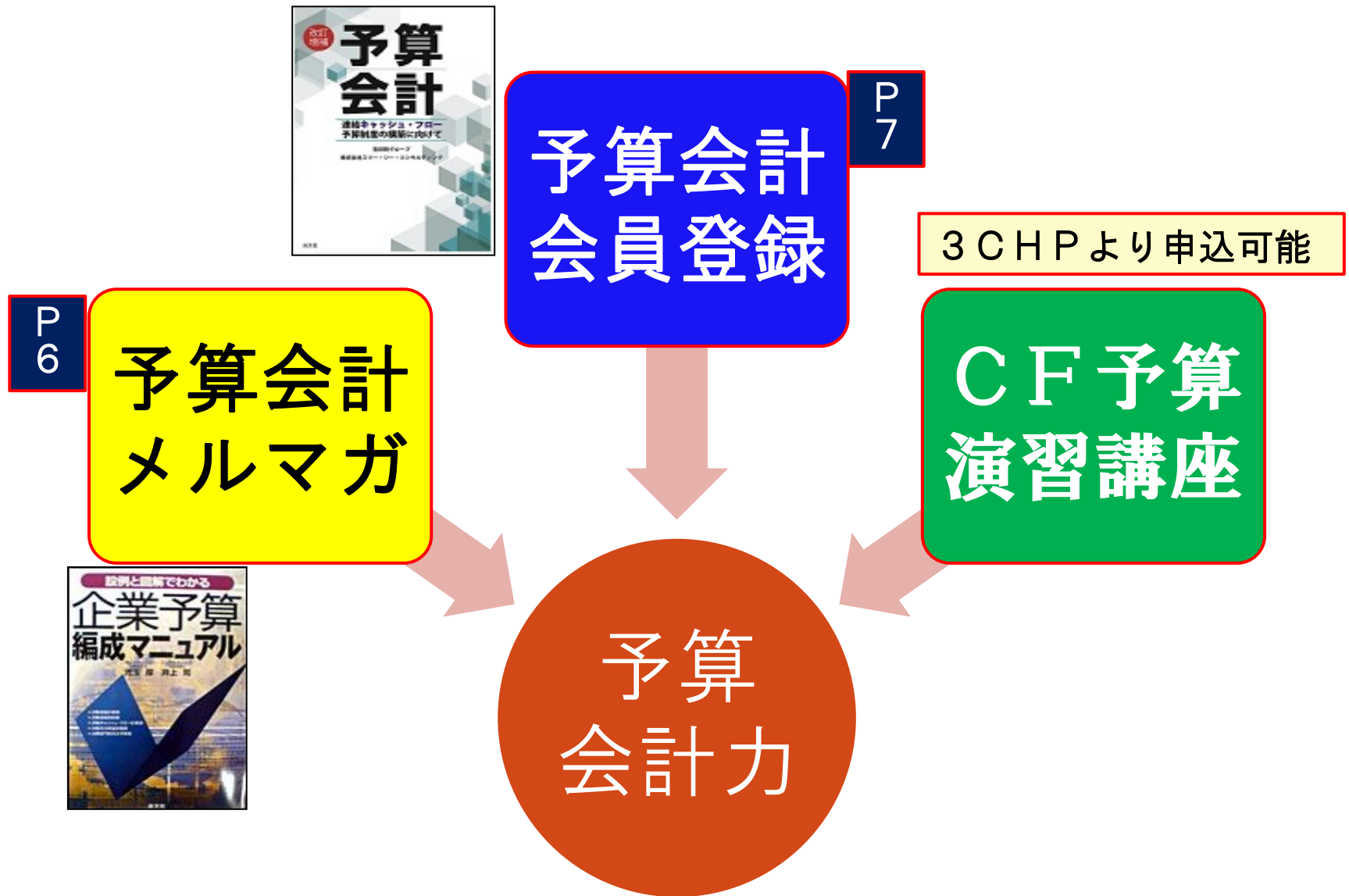
個別予算株変 ①	+	個別予算株変 ②	-	連結予算仕訳 株変③	=	連結予算 株変④
-------------	---	-------------	---	---------------	---	-------------

個別予算B S ①	+	個別予算B S ②	-	連結予算仕訳 B S ③	=	連結予算 B S ④
--------------	---	--------------	---	-----------------	---	---------------

個別予算C F ①	+	個別予算C F ②	-	連結予算仕訳 C F ③	=	連結予算 C F ④
--------------	---	--------------	---	-----------------	---	---------------

最後に

予算会計力を日々鍛えてゆきましょう！



予算を自動仕訳化する日本初のシステム！

EXCEL
予算業務

PL

資金

BS

CF

評価



宝印刷グループ
株式会社スリー・シー・コンサルティング

- ①予算自動仕訳化(資金含む)
- ②非会計数値仕訳化(受注高・自己株式数等)
- ③宝印刷XSAへ連携拡大予定

 予算会計エクスプレス

予算会計エクスプレスのセミナー定期開催中
<http://www.3cc.co.jp/seminar/top.php>

最後に

ご清聴ありがとうございました。

本資料に関するご質問・ご相談のある方は
お気軽にお声がけ下さい。

宝印刷グループ

株式会社 スリー・シー・コンサルティング

担当：企画部 向井 勝人

TEL：03-6863-7200（代表）

E-mail：k_mukai@3cc.co.jp

